

附録2008年(平成21年)6月1日(毎月1回)発行 月刊保団連(昭和47年6月15日第3種郵便物認可)通巻1000号

### 兵庫県保険医協会設立40周年記念 第41回総会のご案内

6月14日(日)午後1時～／神戸国際会議場3階 国際会議室

(ポートライナー「市民広場駅」から徒歩5分)

総会議事 午後1時～

2008年度会務報告、2009年度活動方針案、

2009年度予算案、役員承認の件、ほか

記念式典 午後2時20分～

記念講演 午後3時10分～

### 「医療における倫理とその実践」

京都大学名誉教授

先端医療振興財団臨床研究情報センターセンター長兼研究事業統括



福島 雅典 先生

#### プロフィール

【ふくしま まさのり】 医学博士。1973年、名古屋大学医学部卒業。名古屋第二赤十字病院、京都大学大学院、浜松医科大学助手などを経て、2000年に京都大学大学院医学研究科薬剤疫学教授。2009年4月から現職。

◇記念懇親会 午後5時30分～ (参加費不要) ポートピアホテル 大輪田の間

兵庫県保険医協会 TEL078-393-1801 FAX 078-393-1802

兵庫県保険医協会設立40周年記念 第41回総会に

出席します

欠席します

議事を議長に一任します

記念講演に参加します ( ) 人

記念懇親会に参加します ( ) 人

(地区)

(お名前)

)

# 西洋美術の至宝を堪能

感想文 かまだクリニック 鎌田日出男



システィーナホールで記念撮影

賞の為、集中  
の西洋名画鑑  
は余りにも短  
余りの鑑賞に  
いたが、千点  
間確保されて  
ゆったり3時  
鑑賞には  
である。  
鑑賞がメイン  
だが、大塚  
路鳴門方面  
まった。淡  
アーが始  
催のバスツ  
明石支部主  
が集合し、  
が集合し、  
理事長夫妻をはじめ計28人  
晴れ間があるも、一日中曇り  
き荒れる明石駅に池内春樹  
4月26日は、春には珍しく 日和であった。強い風の吹  
発達した低気圧のため、時に

支部は4月26日、日帰りバスツアー「ルネッサンスリゾー  
トナルトでのランチ&大塚国際美術館をゆったり鑑賞」を  
開催。会員ら28人が参加した。当日、参加いただいた先生の  
感想を紹介する。

力が持続せず大半はルート  
のみの鑑賞になってしまっ  
た。  
入館すぐ女性美術ボラン  
ティアの方に、主として中  
世からルネサンス期の有名  
な作品についてガイドして  
いただき助かった。聖堂  
礼拝堂などはオリジナルの  
空間をそのまま再現してあ  
り、宗教的空間が窺える展  
示である。特にシスティー  
ナホールは、巨匠ミケラン  
ジェロの壁画があるシス  
ティーナ礼拝堂を再現した  
もので、ルネサンス芸術愛  
好家必見の展示である。  
婦路、淡路サーピスエリ  
アで休憩の頃、雨上がりの  
黄昏の天空に虹が出現。遙  
か上方の薄明かりの海面よ  
りラピスラズリブルーの天  
空に向けて、大きな虹が煌  
めいた。  
黄昏の 海に替える  
虹と橋

兵庫 庫医 協 会  
保 險 医 協 会

# 明石支部 二五ノ又



N o. 235

2009・5・25

**投稿歓迎!**

兵庫県保険医協会明石支部

支部長 吉岡 巖  
神戸市中央区海岸通一丁目二番三十一号  
神戸フコク生命海岸通ビル五階

TEL 〇七八―三九三―一八〇二  
FAX 〇七八―三九三―一八〇二

## 第75回評議員会

# 明石支部から2評議員が発言



インフルエンザが流行するなか多くの会員が参加した

県協会は5月17日に神戸市中央区の協会会議室で第75回評議員会を開催。理事や評議員、73人が参加した。明石支部からは吉岡巖副理事長、西山裕康、永本浩両評議員が参

加した。西山裕康評議員(支部副支部長)は「近畿厚生局移管に伴う、監査対策の強化について、指導通知が届いたら協会に相談を」と題して、発

言。「社会保険庁改革に伴い、指導、監査等の取り扱いが『兵庫社会保険事務局』から『近畿厚生局兵庫事務所』に移管され、全国的な標準化が進められている。兵庫

県でも今年度から、新規開業医に対する『新規指定後個別指導』等の取り扱いが大きく変更された。『新規指定後個別指導』では、患者リストの通知が従来の3週間前から前日午後とされ、患者レセプトも単月分から連月分に、さらに指導結果による返還は『原則なし』から指導対象レセプトについての『自主返還もある』など『個別指導』に近いきびしい内容に変更されている。しかし、指導大綱でも『保険診療の取り扱い、診療報酬の請求等に関する事項について、周知徹底させることを主眼とし懇切丁寧に行う』とされており、特に『新規指定後の個別指導』については教育的観点から行うのが当然で、実質的ペナルティを目的とした威圧的方法は改めるべきである。また、『集団的個別指導』についても、『社保地区別懇談会』とは別に実施するなど極力医師会の関与を排除する動きも見られる。これらの現場を軽視した動向きに対して、近畿厚生局兵庫事務所に懇談を申し入れるなど、さらに審査・指導対策を強化していただきたい。あわせて、指導通知が届いたらいつでも、審査対策部に相談するよう周知してほしい。」と述べた。

また、永本浩評議員は「後期高齢者医療制度は国会を即解散して廃止すべき」と題して発言。「後期高齢者医療制度だが、そもそも男女で平均寿命に差があるのに、一律に75歳で区別するのは、おかしい。区別は差別に繋がっている。発育期の小児の場合には別にしても、成人を年齢で区別するのは医学的に根拠がない。まず、はじめに『医療費抑制』ありきという政策そのもので、それまで社会に、国家に貢献した国民に対するあまりに冷たい処遇であり、先進国として世界に例のない恥ずべき後期高齢者医療制度は、国会を即解散して廃止すべきである。」と述べた。



## 明石公園



丹家医院  
丹家 聖仁